

ホテルリノベーションとイスの役割

～記憶に残る体験、ストックとしての価値体験を実現～

(株)エフラボ

イスに特化したリフォームを手掛けているのが(株)エフラボだ。客室やロビー、宴会場など、ホテル内に多数のイスはあり利用頻度が高く、劣化が早いもののメンテナンスが後回しされているのが実情だ。職人不足もありイスは購入するものと判断しているところが多い。そこで今回は「ホテルリノベーションとイスの役割」について松井社長に語っていただいた。



新築ホテルでは、今も昔も建築場所やその使用目的、そのホテルが持つコンセプトに応じて新たな空間を創造し、デザインされてきました。結果として納品される家具は、大量生産、大量販売を目的とされたプロダクトアウト商品ではなく、ニーズを優先したお客さま視点で、かつお客さまの求められるポジションに応じたマーケットインのオーダー製品が開発・提供されてきております。

ロビーに好印象を持たれるお客さまは客室に対しても高い期待されております。期待できると考える方は80%以上にもなります。ディナーにご満足したお客さまは朝食にも大きな期待を抱かれます。そんなシーンや場所には必ずと言ってよいほど、さりげなくイスが登場しています。ところが昨今は、選り抜かれたオーダーメイドの高級椅子を捨て去ることが多くなり、トータルプランニングされたホテルのイメージが崩れています。

リノベーションにより新しい価値をプラスしてホテルのイメージを刷新し、お客さまを飽きさせないことや、働く社員のモチベーションアップによる売り上げや稼働率アップを望んでいらっしゃると思います。そのためには経年劣化に対して、当初の機能を回復するための補修と、利用客のニーズの変化に

伴う商品価値の低下に対応していかなければなりません。

お客さまの短期的な満足だけでなく、記憶に残る体験、「ストックとしての体験価値」が必要なのです。

そこで、お客さまが宿泊全体を通じて得た記憶体験価値の一つとして、皆様は今、お持ちの椅子から他社との差別化要素を考えてみました。オープン当初の高機能性や快適性をよりアップし、独自性やデザイン性を担保しながら、コストを抑えた「リペアする、再生する」です。新品購入予算の6〜7割程度にコストを抑えることができます。余った予算は、上手に他へ転用することができるのです。

当社は、企業信条を3Rとして行動しております。「R」の発生を可能な限り少なくする発生抑制・Reduce「不要物を可能な限り繰り返し使う・Reuse」「繰り返し使えない物を再資源化する・Recycle」です。

工場は敷地面積3千坪、工場面積千坪、自動倉庫250坪、さらに300坪の別棟保管専用倉庫を保有し、さらには、七尾市の協力を得て小学校の廃校も利用しています。高速CAM（自動裁断機）3台に小型カメラを搭載させ、職人の持っている技術と発想を機械に取組むことにより、職人と1Tの一体化にも着手してきました。木工所

においても、ネ스팅機能に限定したNCルーター加工機を導入することで、職人だけでは難しかった椅子木工加工の特化が可能となり、縦・横・斜め・穴あけ・研磨の5工程作業の自動化とスピードアップを実現しています。技術者不足といわれる今の時代において職人と1T、専門機械をうまく融合する事で作業場改善にも対応できるようにになりました。現役引退した元大工さんや建具職人さんたちによる登録シルバー人材雇用など、常時60人以上の多くの方々を交えて毎日働いております。

張替作業だけでなく各イスメーカーさん依頼によるコラボレーション業務やオーダー製品にも対応するなど、すべての工程を一貫してお引き受けしています。日本全国には137社の協力工場がありネットワークを築いております。国内資材メーカーや輸入業者との直接取引口座を有することで、良質なイス資材やデザイン豊かな資材を安価に入手できます。

『捨てられる物をお預かりし、再生した物をご希望者に提供する』。今後ともにご協力しながら発展できますよう、良きパートナーとなりえますよう努力してまいります。

施行事例集～ハワイの結婚式場の張替え～



施行前 チャペル：ボタン締めソファの現地張替え



施工風景 必要な機材を日本から運び、日中は睡眠、夜間施工を行なう。仕上がりに関係者も満足の声。



(株)エフラボ

本社：石川県七尾市中島町小牧 19、1009 番地 3 URL：http://www.f-labo.jp